

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 3ク ォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2018/11/26		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587038901	科目番号 / Subject code	05870389
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12511_005		
授業科目名 / Subject	芸術と文化 (ことばの世界)COC+ / World of Words		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto, 中村 典生 / Norio Nakamura, 倉田 伸 / Shin Kurata		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto, 中村 典生 / Norio Nakamura, 倉田 伸 / Shin Kurata		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	松元浩一 (ファシリテーター) kmat_nagasaki-u.ac.jp 中村典生 nakn_nagasaki-u.ac.jp 倉田 伸 shin1222kurata_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	松元浩一 教育学部本館6階 617号室 中村典生 教育学部本館5階 515号室 倉田 伸 教育学部本館5階 509号室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 12:00-12:50、14:20-14:30		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	英語や日本語を初めとする「ことば」を題材にし、インターネットやロボット等と人が共存する情報化社会を作り出すプログラミング言語も題材にしながら、現代に生きる人間の諸活動の問題をことばと情報の観点から考察する。 社会を取り巻く環境の大きな変化により「ことば」の教育、とりわけ外国語の教育が大きく変わろうとしている。手紙や電話とは異なり、スマホやICT機器等の発達により、「ことば」の伝達方法やコミュニケーションの様態も劇的に変化している。こうしたなかで、日本語や英語によるコミュニケーションの在り方、表現し働きかける力、他者と係る力をどのように身につけ、学ばばよいかを日本における今日の教育とも関連づけて考察する。また、長崎は16世紀から外国語を取り入れる窓口となって日常的に外来の言葉と融和してきた。「長崎人」が外来語と接するなかでどのように自らを表現し他者に働きかけ、他者と係る力を身につけたのかを可能な限り探りたい。		
授業到達目標/Course goals	(1) 自らが受けてきた「ことば」の教育を振り返り、省察し、発表することができる。 (2) 日本における「ことば」の教育や外国語教育の方向性を理解したうえで、日本語や英語によるコミュニケーションの在り方、表現し働きかける力、他者と係る力をどのように身につけるとよいかを批判的に、自律的に表現できる。 (3) 古くから長崎の先人が接してきた外来語との関わりをもとに、日本語や外国語によるコミュニケーションの在り方に新たな視点を見つけ出すことができる。 (4) 情報化社会に対応した表現方法で、プログラミング言語等を用いて、これまでに学んだ長崎の文化を発信することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	・課題小テスト (25%) ・ショートエッセイ (25%) ・授業への積極的な関わり (課題を含む) (25%) ・課題レポート (25%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回の予習、復習として、授業ごとに調べ学習等の課題が提示されるので指示に従って準備すること (LACSによる課題提示等も行われる予定です。詳細は授業時にお知らせします。)		

キーワード/Key word	日・英語、外国語活動、ICT機器活用、マークアップ言語、プログラミング言語、長崎県
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業時に、予め準備した資料を提示したり、必要なものを準備するよう適宜指示する。
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	グループ討論では、全員が積極的に議論をリードしていくことを期待しています。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回目-5回目	松元担当。前半では、座学で日本語と英語の特性について基本的な知識を学び小テストを行う。後半では、長崎の歴史と英語との関りについて、ペアやグループによるディスカッションや意見交換を通じて考察する。最後に、コミュニケーションの在り方等に関しショートエッセイを課す。
6回目-10回目	倉田担当。これまでに学んだ長崎の文化を、インターネットを用いて発信できるようになるために、マークアップ言語やプログラミング言語の「ことば」の基本を学び、それらを用いてWebコンテンツを作る。最後に作ったWebコンテンツを相互評価し、様々な表現方法を知ることに加え、客観的に自己の表現について省察する。
11回目-15回目	中村担当。第1回から第10回までの内容を念頭において、自らが受けてきた日本語や英語の教育も振り返りながら、歴史的に「長崎人」が外来語と接するなかでどのように自らを表現し他者に働きかけ、日常的に外来の言葉と融和してきたかを調べ、それをもとにグループごとに意見交換を行う。

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/05/29		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587040501	科目番号 / Subject code	05870405
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12551_005		
授業科目名 / Subject	芸術と文化 (音楽) / Music		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	宮下 茂 / Miyashita Shigeru, 松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	宮下 茂 / Miyashita Shigeru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	宮下 茂 / Miyashita Shigeru		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]音楽棟2F1番教室		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	miyamo nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教育学部 音楽棟2F 204		
担当教員TEL/Tel	819-2345		
担当教員オフィスアワー/Office hours	研究室前掲示参照		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	モジュール?Tで修得した芸術の理解・表現方法に加え、音楽分野に関心のある学生に対し、声楽曲 の鑑賞と実技により、深い知識や研究態度を身につけることを目的とする。		
授業到達目標/Course goals	モジュール?Tで身につけた、芸術の理解・表現を深めること。声楽独唱ができること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	各回提出の授業レポート (全15回) の評価 (50%)、歌唱 (独唱) の実技試験 (50%) (授業への取り組みにより、授業レポートのみの評価となることもある)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	声楽、歌曲、オペラ		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業計画に沿い、資料を配布する。音楽の視聴はCD、DVD、生演奏 (歌唱とピアノ伴奏) を活用する。 参考: 歌唱芸術 (白水社)、ドイツ歌曲の歴史 (音楽之友社)、3日でわかるクラシック音楽 (ダイ ヤモンド社)、もう一度学びたいオペラ (西東社)、絶対! うまくなる合唱100のコツ (ヤマハミュ ージックメディア)		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.	教室の座席定員 (音楽棟1番教室) が36名のため、最大受講者数を36名とする。定員を超えた場合は 、Nu-Webでの電子抽選を使用し、教養教育掲示板に結果を公表する。(指導教員への直談判無効)		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業ではクラシック音楽を取り上げます。歌唱芸術への興味と関心を持てること、自分にとっての未知なる音楽を受け入れる柔らかな心を持って受講することを希望します。声楽実践では、一人で人前で独唱する心構えが必要かと思われます。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	導入
第2回	春の歌
第3回	歌曲の歴史??導入?日本の歌曲(西洋音楽)の歴史?
第4回	歌曲の歴史??日本の歌曲(西洋音楽)の歴史?
第5回	詩と音楽の出会い??ドイツ歌曲の歴史
第6回	ホール体験1 / 歌唱法入門(発声の理論と実践)
第7回	歌、歌曲、オペラ、声楽...声楽ジャンルについて1
第8回	歌、歌曲、オペラ、声楽...声楽ジャンルについて2?オペラ体験
第9回	実践 / 「野ばら」の歌唱
第10回	ホール体験2 / 歌唱法入門(発声の理論と実践)
第11回	詩と音楽の出会い??歌曲の手法1
第12回	詩と音楽の出会い??歌曲の手法2
第13回	詩と音楽の出会い??歌曲の手法3
第14回	詩と音楽の出会い??歌曲の手法4
第15回	授業のまとめ / 音楽から見た「世界の言葉」と「学べる喜び」
第16回	歌唱実技試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2018/04/01 ~ 2018/06/04		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587040901	科目番号 / Subject code	05870409
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12561_005		
授業科目名 / Subject	芸術と文化 (美術) / Fine Art		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	兼原 啓二		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	兼原 啓二		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	兼原 啓二		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Instructor office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	造形活動では、構成力の基礎的な表現力を必要とします。造形感覚を磨くとともに立体表現方法を 養います。ここでは、木を素材とした表現を通して、刃物の使用方法を体得し空間把握を意識しな がら形としていくことを目的とします。		
授業到達目標/Course goals	1 技法及び道具の使い方などの基本的な知識や技術を身につけることができるようになる。2 立 体を把握し、造形的意義を理解している。3 表現を通して美術文化を理解している。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	授業への取り組みと意欲 (20点) + 振り返りと自己課題内容 (20点) + 作品制作 (40点) + ポートフォリオ課題 (20点) = 合計100点のうち60点以上を合格点とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	授業終了後の時間内に、本時の振り返りと次回の課題内容を求めます。		
キーワード/Key word	木彫、空間把握、制作手段		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	必要に応じてプリントを配布します。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	出席とやる気が作品の良し悪しに関わってきます。休まないで受講しましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション、彫刻 (木工) の概要 (表現内容と素材、その関係と見方について)		
第2回	木の概要 (種類、特性、工具の扱い方)		
第3回	木彫レリーフ (バラ) の制作 (準備と下描き・荒彫り)		
第4回	木彫レリーフ (バラ) の制作 (荒彫り)		

第5回	木彫レリーフ（バラ）の制作（中彫り）
第6回	木彫レリーフ（バラ）の制作（凹凸の表現方法）
第7回	木彫レリーフ（バラ）の制作（仕上げ彫り）
第8回	木彫レリーフ（バラ）の制作（ニス塗装仕上げ）
第9回	作品の講評及び評価、ポートフォリオの作成
第10回	木彫丸彫り（鎖）の制作（木材の準備と下描き）
第11回	木彫丸彫り（鎖）の制作（鋸引き及び荒彫り）
第12回	木彫丸彫り（鎖）の制作（カッターによる荒彫り）
第13回	木彫丸彫り（鎖）の制作（カッターによる中彫り）
第14回	木彫丸彫り（鎖）の制作（カッターによる仕上げ彫り）
第15回	木彫丸彫り（鎖）の制作（サンドペーパーによる仕上げ）
第16回	作品の講評及び評価、ポートフォリオの作成